

問題 民間に任せると、財やサービスの価格が高くなりすぎ、この価格では望ましい水準の供給が得られない為、住民が低廉で適正な量を受けられるよう政府が直接供給する。この論理に合わないものを選べ。

- ① 地域の文化振興策として音楽ホールの建設が計画された。しかし、民間に任せるとコンサートの入場料が極端に高額になることが分かったので、自治体が建設・運営することになった。
- ② 都市整備の一環として、プロパンガスから都市ガスへの転換が計画された。しかし設備の建設と維持の費用が莫大で、採算の合う経営が困難なことが分かったので、自治体が直接その経営に乗り出すことになった。
- ③ 新幹線の新線開通に伴って在来線の採算がとれなくなったので、近距離交通機関として在来線の公営化を自治体が推し進めた。
- ④ 海外製品との競合で相対的に競争力を失い、倒産に追い込まれた地場繊維企業の幾つかを自治体買い取り、直接その経営に乗り出した。

公共事業は短期的には景気を浮揚させる効果がある。しかし、その短期的効果に期待し、依存しすぎると、長期的効果もあらわれる。その長期的効果の事例で正しいものは？

- ① 高速道路の建設が決定されたのに伴い、対象地域の土木事業などで一斉に受注の機会が増えることになった。そのため、既存の土木事業者が土木機械等の購入や人手を増やすとともに、新規参入者も現れた。
- ② 既存の高速道路に新たなインターチェンジが付設され、その近辺で交通量の増加が見込まれるようになった。その結果、周辺でガソリンスタンドの開設や店舗拡張が目立つようになった。
- ③ ある湖で治水のための護岸工事が公共事業として行われたが、湖の自然浄化能力が低下して水質が悪化した。これに対して、自治体が生活排水浄化のために浄化槽の設置を各家庭に義務づけたため、浄化槽供給業者が潤った。
- ④ ある工場地帯から出る排煙がその地域の大気を汚染し、住民にその被害が及んだ。これに対し政府が排出基準を設けたので、脱硫装置の需要が増加した。

8 下線部⑤に関連して、幸福追求権の意味については、あらゆる生活領域における行為の自由として広く解する立場と、個人の人格的自律にとって不可欠な権利として狭く解する立場とがある。後者の見解を前提とした場合に、幸福追求権に基づいて保護され得る利益を主張した例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。なお、これらの事例は、すべて過去の裁判例を素材とするものである。 31

- ① 私が警察に逮捕されたのは、^{とぼく}賭博をやったことがばれちゃったからなんです。でも賭博は、自分で稼いだカネでやってるし、しかも賭博をすることで幸福を感じるわけですから、賭博行為は権利として認められるべきだと思うんですけど、どうでしょうか？
- ② いやあ参りました。バイクに乗っているところを先生に見つかってしまって。学校の校則でバイクが禁止されていることは知ってたけど、僕は免許もとったしバイクに乗ることが好きなんです。それなのに退学なんてひどすぎると思いませんか？
- ③ 私の場合は、法律で勝手に酒を造ることが禁止されているとは知らずに、自分で楽しむためにどぶろく(酒の一種)を作っていたんです。それが見つかって処罰されたんですが、しかし、どぶろくは私の一番の楽しみなんです。それが禁止されるなんて信じられない！
- ④ 日本の外国人登録制度はおかしいですよ。私は外国人なので、日本で生活する場合には指紋を^{おうなつ}押捺する義務があるんですが、指紋っていうのは人によって違うんですよ。私に関する情報がすべて知られてしまいそうだし、犯罪捜査にも使われているようで、とってもイヤなんです！

未解説分

この3問は、煮ても焼いても解説ができませんでした……。下に答えを載せておきます。ごめんなさい。

21→④

22→①

31→④